ようこそ「神楽」の世界へ

～中国地方の神楽の魅力～

中国地方神楽観光振興協議会

●神楽とは

　神楽は日本神話（※1）の神様にささげる歌や踊りです。この神楽は豊作・豊漁を願い、疫病を追い払う儀式として舞われたのが始まりとされています。
　日本国内で様々な神楽が伝承されていますが、中国地方では神楽上演団体（※2）の数は５００を超え全国トップクラスです！地域ごとに包括しても「出雲神楽」、「石見神楽」、「芸北神楽」、「備中神楽」など、いくつも名前をあげることができます。
　趣についても、ゆったりと神事性が高いものから、太鼓や笛のリズムのテンポ（※3）に合わせ、華麗に舞う舞い手（※4）の姿に圧倒される演出性が高いものまで幅が広いです。
　ストーリーを伴うものについては大半が「勧善懲悪」を主とした内容となっています。上演場所も様々であり、神社で厳かに舞うものもあれば、常設会場などで飲食を楽しみながら和気あいあいと鑑賞するものまであり、訪れた方々は神楽の魅力に惹かれ、多くのリピーターを生み出しています。
　皆様も是非一度中国地方に足を運んでいただき神楽の魅力を体験して下さい！

（※１）　８世紀初頭に編纂（へんさん）された「古事記」や「日本書紀」をはじめとする古典に記された神話のことです。その中に登場してくる神様の中で、天照大御神（あまてらすおおみかみ）、須佐之男命（すさのおのみこと）、天鈿女命（あめのうずめのみこと）などは神楽の演目の主人公となることもあります。

（※２）　「神楽団」や「社」と呼ばれています。通常、構成員は別の本業に従事しながらその合間をぬって稽古を行い完成度の高い演舞を披露しています。

（※３）　神楽で欠かすことが出来ないのが奏楽です。奏楽の種類としては大太鼓・小太鼓・横笛・銅拍子（手打ち鉦）があり、中でも欠かせないのが太鼓です。神楽には楽譜がないため、他の演奏者は大太鼓の流れに合わせて演奏をすることが多く、舞い手との阿吽の呼吸も要求される奏者は日頃の鍛錬と熟練の技術が求められます。

（※４）　神楽の要素として舞い手が舞台上に一部終始登場していることが挙げられます。それぞれの演目により舞い手のお面・衣装が異なります。演舞によりますが、時には華麗に、時には激しい動きで舞い、多くの観客を魅了します。舞い手の中には「追っかけ」が存在するほどの人気スターもいます。神楽が「日本のオペラ」とも称されるゆえんです。

●神楽のここが面白い　～神楽のみどころ～

神楽には様々な演出があり、それぞれ見どころがあります。ここではその一部をご紹介します。

【舞い手が炎を噴く！】

神楽の見所の１つで神と鬼が戦う場面があります。その際に突然口から炎に見立てた火花を発する演出を行う演目もあります。特に夜の屋外公演の際に行われる演出の１つとして多くの神楽ファンを魅了しています。

【ドライアイスを用いた演出】

演出の１つとして良くドライアイスが用いられます。演目にもよりますが、鬼の登場とともに舞台裏からもくもくと白い気体が出てくるケースが大半ですが、雲をイメージとして使用される場合もあり、見ている側は「今から何がおこるのだろうか？」とドキドキする瞬間です。

【衣装に隠された秘密？？】

かぐらの衣装はとても豪華絢爛です。中には金糸や銀糸で刺繍が施された１着 200 万円以上もする非常に高価な衣装も存在します。さらに重さも種類によりますが１着約 10 kg近い衣装も存在します。なお、地域によっては衣装の試着体験もできます。

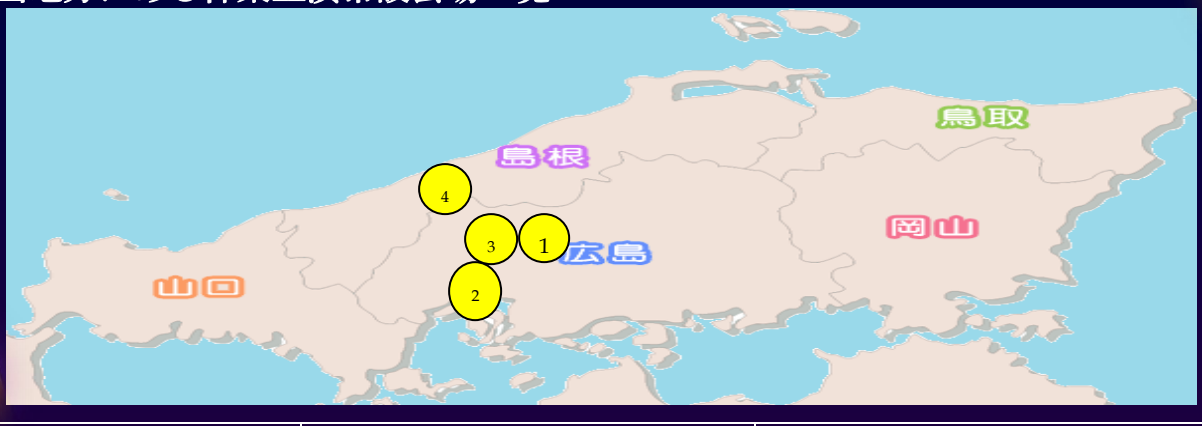
【神楽の早技】

神楽をみていると突然舞い手の衣装が替わっていたり、今まで付けていなかったお面をつけていたりする場面が多くあります。一瞬のうちに替わる舞い手の技量に観衆は驚かされます。

【まるで漫才？】

神楽によりますが、舞い手には茶利（さり）と呼ばれる役があり、いわゆる芝居で言う「三枚目」。とてもユーモアがある話術と素振で太鼓奏者との掛け合いは観客を笑いの渦に巻き込み、あたかも漫才を彷彿とさせます。

●中国地方にある神楽上演常設会場一覧



場　所	施設内容	アクセス等詳細情報ＵＲＬ
①　神楽門前湯治村 （広島県安芸高田市美土里町本郷 4627） TEL:0826-54-0888	神楽門前湯治村は温泉宿・料理屋など昔懐かしい町並みの施設でかむくら座や神楽ドームでは週末に市内 22 神楽団による神楽公演が行われています。	http://www.kaguramonzentoujimura.com/ アクセス：広島バスセンターから高速バス　（三次・庄原方面行き）に乗車し、美土里高速バス停下車。タクシーまたは神楽門前湯治村送迎バス（0826-54-0888 にて事前予約が必要。）
②　マリーナホップ （広島県広島市西区観音新町 4-4-14） TEL:082-503-5500	※現在、2013 年 4 月オープンに向け準備中。毎月第 3 第 4 土・日に地元神楽団による公演を予定。	http://www.marinahop.com/ アクセス：JR 広島駅前バス停から（マリーナホップ行き）に乗車し約 40 分。
③　道の駅舞ロードＩＣ千代田 （広島県山県郡北広島町有田１２２２） TEL:050-5812-1171(IP 電話)	※現在、2013 年 7 月オープンに向け準備中。	http://www.kitahiro.jp/taiken/myroad.html アクセス：広島バスセンター（三次・庄原方面行き）に乗車し、千代田 IC で下車してすぐ横
④　有福温泉湯の町神楽殿 （島根県江津市有福温泉 711-1） TEL:0855-52-2501	2011 年 4 月に有福温泉のど真ん中にオープンした神楽殿。毎週土曜日の夜に地元神楽団による石見神楽の上演が行われます。鬼が客席に乱入するなど公演内容は迫力満載。	http://www.gotsu-kanko.jp/03_onsen/01_arifuku/kagura.html<br　アクセス：広島バスセンター～（浜田・有福温泉方面）に乗車し、有福温泉で下車して徒歩数分

上記以外でも定期的に神楽上演は行われておりますので、その他の中国地方の神楽上演会場に関する情報については http://wwwtb.mlit.go.jp/chugoku/kagura/txt/information.html をご参照下さい。

山陰から中国山地にわたって古くから親しまれている神楽は、現在中国地方の地域活性化の核として大きな役割を果たしています。この神楽を魅力ある観光資源として一層磨きをかけるとともに、さらなる国内外にアピールしていくことを通じて中国地方における観光魅力の向上を図ることを目的とし中国地方の自治体と「中国地方神楽観光振興協議会」を本年 3 月に設立しました。今後も引き続き様々な形でこの神楽の魅力をＰＲしていきます。

その他の中国地方の神楽に関する詳細（動画・上演スケジュール・上演依頼問合せ先）については下記ＵＲＬを是非ご参照下さい。
http://wwwtb.mlit.go.jp/chugoku/kagura/

中国地方神楽観光振興協議会【事務局：国土交通省中国運輸局企画観光部観光地域振興課】
連絡先：広島県広島市中区上八丁堀６番３０号　　ＴＥＬ：０８２－２２８－８７０１
2012 年 11 月